

雨にも負けず 一斉清掃



雨の中、ゴミの回収作業にあたる市職員

6月5日、土佐山田町内で一斉清掃が行われ、早朝から各地域では、側溝の泥上げや樹木の枝打ちが行われました。市職員約160人が、雨の中回収作業にあたり、2tトラック58台・軽トラ10台、合計約60tのゴミが回収されました。残念なことに、回収されたゴミの中には、庭木のせん定木や家庭ゴミが混入されており、市役所担当課の職員は「一斉清掃は地域内の道路・水路の清掃なので、この趣旨を守ってほしい」と話していました。また、回収には、市内業者からトラックと運転手の協力がありました。

◆◆◆ご協力ありがとうございました◆◆◆

南福永建設・カミケン工業㈱・南佐々木建設・溝渕建設㈱・南依光建設・南かがみ建設・南中山建設工業・黒岩工業㈱・南戸梶開発・山崎工務店・榎近藤工務店・山老水道・南高知ガーデン土木・福井総合建築・岩井マーブルック工業・榎四電工山田営業所・総合住設センター・榎丸善建設・南石丸建材店

福祉施設へ鮎の寄贈

ダイワ鮎マスターズ

6月5日、ダイワ鮎マスターズ2011の四国地区大会が物部川河川敷で開催されました。この大会にはプロ・アマ合わせて130人の選手が参加し、釣り上げられた約600匹の鮎が香美市内の福祉施設へ寄贈されました。



旧庁舎 解体進む

市役所庁舎前の旧庁舎の解体が5月中旬から始まり、解体作業が順調に進んでいます。解体作業前には3日間にわたり、旧庁舎において、香美市消防による救助訓練が行われました。

6月中に解体を終え、7月・8月に、防火水槽・雨水貯水槽を建設予定です。



県内各地から集結

グラウンド・ゴルフで交流

5月16日、土佐山田スタジアムで第16回香美市グラウンド・ゴルフ交歓大会が開催されました。

県内各地から28チーム230人の参加があり、愛好者が交流を深めました。この大会は、市グラウンド・ゴルフ協会の主催で、ホールインワンが出るごとに100円の募金が行われ、集まったお金で車いす等を購入し、県内の各社会福祉協議会へ寄贈しています。今回は、249回のホールインワンがありました。



商店街に新風!

アンテナショップオープン

6月1日、土佐山田町西本町のあびす商店街に、アンテナショップふらっと中町がオープンしました。

この店は、あびす協同組合の企画で、閉店したスーパーを改装し、同商店街で毎年開催されている昭和横丁のレトロな雰囲気になっています。

店内には、打ち刃物・ゆずドリンク等の香美市の特産品も並べられています。来店したお客さんは「県外へのお土産もここで買えるき、しょうえい」と話していました。

同店の出店は、県の雇用対策事業の補助を受けており、雇用促進と商店街の活性化が期待されます。



店内の様子



▲目印はこのマーク

東日本大震災による被災地への人的支援の要請を受け、香美市役所の保健師1名が、5月25日から31日まで、宮城県南三陸町へ派遣されました。

派遣地での活動はこの内5日間で、高知県チームとして避難所や仮設住宅を巡回して、健康チェックや健康教育等の保健活動を行いました。

派遣された保健師は「思っていたよりがれきの撤去が進んでいたが、少し道を外れると、山の途中で車がひっかかっていたり、4階建てマンションの上まで津波のゴミがあり、生の光景はテレビで受ける印象よりも強烈で、言葉を失った」と現場の壮絶さを話していました。

市では、7月にも保健師の被災地派遣を予定しています。



▶派遣された保健師



震災の地へ保健師派遣

▲津波で破壊された役場防災庁舎、その左にあった役場庁舎は跡形もなくなっている



香美市行政連絡会

5月14日、中央公民館で香美市行政連絡会が開催され、110人(自治会総数190)の自治会長が出席しました。

市長と議会議長から市政報告が行われた後、各課から今年度の事業予定や施策についての説明が行われました。その後行われた質疑応答では、自治会への広報文書の配布方法や地震関連について、指摘や質問があり、「香美市は津波は大丈夫か?」との質問に、執行部からは「海拔は、土佐山田町京田で20㍍、市役所本庁舎で43㍍なので被害はないと考えるが、今後も県の出す被害想定を注視していく必要がある」と説明がありました。